

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) アテナ製紙株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 701-0204 岡山市南区大福721番地
----	--------------------------	----	---

本票作成	部署名：生産部
------	---------

主たる業種	分類コード	14	業種名：パルプ・紙・紙加工品製造業
-------	-------	----	-------------------

事業の概要	紙器用板紙、貼合板紙の製造
-------	---------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	1	本社	岡山市南区大福721番地

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)	(令和 3)年度排出量	目標年度 (令和 6 年度)
	32,618 t CO ₂	26,155 t CO ₂	31,705 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 3)年度排出量
	1	本社	26,155 t CO ₂
		t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 2 年度	～	令和 6 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(3)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	2.5 %	2.8 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(3)年度	目標年度
		0.840 t CO ₂ /(t)	0.819 t CO ₂ /(t)	0.817 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 3 年度)	達成率等
指標の状況	板紙製造業	4944.000 MJ/t 以下	12796 MJ/t	38.6%

【削減状況の自己評価】

生産数量は前年比約1%の増加、電力使用量も約1%増加したが、重油の使用量は約4%の増加であった。抄紙機のトラブル等により、ボイラーの空運転の時間が増えたと思われる。原単位削減率は前年度2.1%→今年度2.5%の削減となり、やや改善した。ベンチマーク指標達成率は前年度39.3%→今年度38.6%と悪化した。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用量の削減に向けた取組を推進。
- ・月例の会議において、エネルギー原単位の推移等を基に、製造工程の見直しや生産効率の向上等について検討。
- ・ISO9001に基づき、工場長を中心とした管理体制のもと継続的改善を推進

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
アテナ製紙株式会社 本社	<p>(令和3年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年に引き続き照明設備のLED化(100灯)や低圧電動機のインバータ化を実施し省エネに努めた。また、抄紙機が電気トラブルで停止し生産性が下がるのを防ぐため、電気部品の早めの交換を実施した。また老朽化した重油ボイラーのPLCの更新を行いボイラーのトラブルで停止することは少なくなった。 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低圧電動機のインバータ駆動化による電力使用量の削減 ・更新時期にある高圧変圧器の低損失変圧器への更新 ・空調機器及び照明器具の省エネ型機器への更新による電力使用量の削減 ・蒸気配管等の保温を強化し、放熱損失低減による重油使用量の削減

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--